

Avastin+タルセバ療法【30分】

【呼吸器科】171【非小細胞肺癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	
アバステン	↓	休薬	休薬	休薬
タルセバ	経口:連日投与			

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">生食 50mL 10分</div> <div style="text-align: center;">↓</div>
②	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">●アバステン注【 】mg 生食 100mL 30分</div> <div style="text-align: center;">↓</div>
③	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生食 50mL 10分フラッシュ</div>

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
アバステン	15 mg/kg
タルセバ	150mg/body

※1日1回空腹時

■注意・確認事項

- 致死性の喀血等重篤な副作用が起こることがある。
- アバステンは喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者は禁忌。
- アバステンとブドウ糖溶液を混合した場合、アバステンの力価の減弱が生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、アバステンとブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。
- アバステンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。
2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。

入力 薬剤師	看護師	看護師